

# まとめ

須藤功平

株式会社クリアコード

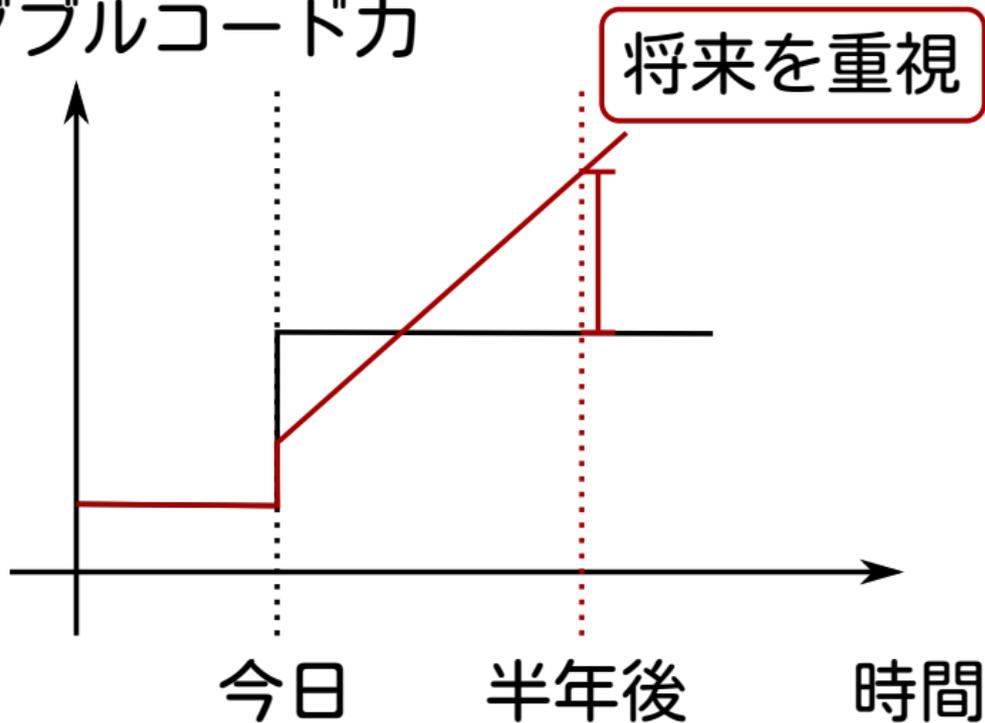
SEゼミ2014 - リーダブルコード勉強会1  
2014/06/22

# 目的の確認

参加者の  
リーダーブルコード力の  
レベルアップ

# 将来を重視

リーダーブルコード力



# レベルアップ後のイメージ

“自分が書いたコードってどのくらい覚えているんですか？”

“ほとんど覚えていないですよ。”

# レベルアップ後のイメージ

“直すときどうするんですか？  
わからなくなってるじゃないで  
すか。”

“忘れても見たら簡単にわかる  
ように書いておくんですよ。”

# やったこと

1. 書いて
2. 読んで
3. 書いて

# やったこと：意図

1. 書いて←自己流で本気をだす
2. 読んで←他のコードから吸収
3. 書いて←↑を活用して成長

# どうしてこうやったか

## 1. 既存のテクニックの習得

✓ 本から学ぶ

✓ 野生のコードを読む→  
リーダブルコードを発見→  
吸収 ↑ を体験

## 2. 新規にテクニックを発明

✓ リーダブルでないコードを発見→  
改善案を発明

# やった結果

- ✓ 発見できた？
- ✓ 気をつけたことはある？
- ✓ これからも発見できそう？

# 発見方法のヒント

- ✓ リーダブルコード
  - ✓ **読む人**がリーダブルと思ったコード
- ✓ 読む人視点が重要
  - ✓ 読む人の視点を忘れないためには？
  - ✓ 普段からコードを読む習慣をつける

# 明日からのヒント

- ✓ OSSを1つ選ぶ
  - ✓ 自分が使っているOSS
  - ✓ 気になる会社が作っているOSS
- ✓ 毎日コミットを読む（読み）
  - ✓ さらに：バグを直してみる（書き）
  - ✓ さらに：機能追加してみる（書き）

# 面接時のヒント1

コードを  
見せてください

# ヒント1の理由

読む人視点が鍛えられていれば…

- ✓ どのくらいのレベル感？
- ✓ リーダブルコードを書く会社？
- ✓ 会社には選ばれるだけでなく  
あなたも会社を選んで！

# ヒント1の補足

- ✓ リーダブルコード!=絶対善
  - ✓ 使い捨てプログラムは  
リーダブルじゃなくてもいいかも
- ✓ よくあるのはずれな煽り
  - ✓ 動かないリーダブルコードより  
汚くても動くコード
  - ✓ 動くのは当たり前  
(そんな程度の低い話はしていない)
  - ✓ 前提が違うので無視してよい

# 面接時のヒント2

開発チーム内で  
仲間のコードを  
読んでみますか？

# ヒント2の補足

- ✓ レビューしてるよ
  - ✓ 少し違う
  - ✓ レビュー：問題がないことを確認
- ✓ うん、そりゃ読みあってるよ
  - ✓ 期待大
  - ✓ 読みたくて読んでいる

# ヒント2の理由

- ✓ 読んでいない
  - ✓ 読む人視点がないかも
  - ✓ → リーダブルコードじゃないかも
- ✓ 読みたくて読んでいる
  - ✓ 読む人視点を持っていそう
  - ✓ 自分も他の人のコードを読める！

# 広告

## コードリーダー育成支援

<http://www.clear-code.com/services/code-reader/>

読みたくて読む文化づくりを支援

# まとめ1

## ✓ 目的

✓ リーダブルコードカアアップ

## ✓ やったこと

✓ 書いて読んで書いて

## ✓ ポイント

✓ **読む人**視点

(読む人がリーダブルと言ったらリーダブルコード)

# まとめ2

- ✓ 明日からのヒント
  - ✓ OSSのコミットを毎日読もう
  - ✓ さらに：修正・改良してみよう
- ✓ 面接のヒント
  - ✓ コードを見せて
  - ✓ コードを読みあってる？

# 忘れないで

プログラミングが好きなことは  
とても大切にして欲しいこと

誰かのコードから  
リーダブルコードを見つける事は  
辛い事でなく楽しい事になるはず